





南方共榮圈

長谷川 伸 原作  
荒井 良平 演出

# 海の豪族

臺灣總督府 共同製作  
日活京都撮影所

乞御期待

南方發展の先驅者濱田彌兵衛がゼ  
イランチャ城に斬込んだ不撓不屈  
の日本精神を強調して、東西總動員  
で描く雄渾の巨篇！映畫界空前の大  
企劃！これぞ示唆深き世紀の巨弾！

## 大東亞共榮圈の確立

大東亞共榮圈とは政治的にいへば、先づ日滿支を中心とし、印度支那半島、マレー半島、蘭印その他を広く包含する地域である。經濟的にいふと日滿支の經濟プロツクを發展させて南方資源を包括した一大經濟プロツクをさすのである。そしてこの圈内に於いては、各民族は互に理解してその特色をよく生かして行くことの望まれることはいふ迄もない。

しかしながら大東亞共榮圈は、東亞諸民族の民族主義的結合を意味するものではない。もとより東亞は英米流の帝國主義的支配から解放され、その間に如何なる擷取も抑壓もあるべきではない。各民族はその逞ましい意力と知性とをもつて活動し得るものでなければならぬ。けれどもさうかといつて吾々は今すぐ各民族の逞ましい意力と知性とのみによつて新秩序建設に進むことは出来ぬ。

吾々は先づ東亞の諸民族を、東亞に於ける唯一の強力な道義國家日本を中心に結集させ、その力によつて東亞に對する歐米人の觸手を一掃しなければならぬ。即ち我國がこの大東亞共榮圈建設の中心となり主體となることが必要である。

(陸軍省報道部「聖戰四年」より)

目次 (八月十五日號)

- 特輯 南方共榮圈
- 大東亞共榮圈の確立……………一
  - 南方政策と臺灣の立場……………二
  - 南方共榮圈最近の動き……………三
  - ……………佐藤 佐……………九
  - 最近の佛印事情……………一〇
  - ……………菊池門也……………二〇
  - タイ國最近の事情……………二二
  - ……………下條久馬……………三三
  - 比律賓の民情と風俗……………三六
  - ……………金子豐治……………六
  - 蘭印に於ける邦人……………七
  - 活動の近況……………山田政治……………八
  - 脚本募集……………皇民奉公會……………二
  - 比島に於ける邦人發展史……………三
  - 臺灣紹介短編讀物募集……………五

特輯

# 南方共榮圈

## 南方政策と臺灣の立場

總督府外事部長 蜂谷輝雄

痛切に考へさせられるのであります。

我が國の南方政策と云ふ事は東洋平和の爲め、又世界平和の爲め誠に意義の深い事と私は考へて居ります。さうして此の意義の深い南方政策を遂行致します爲に、臺灣が極めて重要な地位に在ります事は、臺灣に居る吾々と致しまして、昭和の聖代に生れた生甲斐のある此上もない偉な事と考へ、又夫れ丈けに其の責任の重大なるものがある事を

我が國の南方政策が如何なる理念理想の下に出發して居るかは、今更此處に申上げる迄ありません。夫れは大東亞共榮圈の建設と云ふ事でありませぬ。客年八月第二次近衛内閣が帝國の基本國策を中外に闡明致しました際、松岡外務大臣が、我が國現在の外交方針は皇道の大精神に則り先づ日滿支を一環とする大東亞共榮圈の確立を圖る事であらねばならぬ

らぬ

と宣言致しましたことは、我が國の對外國策の理念を明にしたもので、此の理念は皇國建國以來終始渝る事なき一大理想であり八紘一宇の精神も亦此處に存するのであります。此の理想は世界人類の平和幸福の爲めに世界列國の認むると否にかゝはらず、我が國が存立する限り天地と共に變ることなき大和民族不動の精神であります。我が國の此の信念は、今日に於ては既に獨伊樞軸國は之を嚴肅に承認し、且つ尊重するの態度を示して居るのであります。昨年九月伯林に於て調印された日獨伊三國同盟は其の第二條に於きまして、

獨伊兩國は日本國の大東亞に於ける新秩序の建設に關し指導的地位を認め且つ之を尊重すと明確に規定して居るのであります。然らば我が國が對外國策の理念とする大東亞共榮圈の建設とは、一體何を意味するのか、之を説くに當り、私は暫らく今日迄に於ける國際情勢の推移に付て眺めて見たいと考へるのであります。

二

西曆一九一九年に終末を告げた彼の第一次歐洲大戰は、英米佛聯合國側の勝利に終りまして、當時の獨逸同盟國は英米佛聯合國の軍門に降つたのであります。其の結果何が出來たかと申しますと、米國大統領ウィルソンの提案に係る國際聯盟と、獨逸に對する過重な制裁規定とであつたのであります。國際聯盟の理想とする處は、此の世界から戰爭をなくして終ふと云ふことであつたのであります。然し事實この國際聯盟がどう云ふ働きをして來たかと申しますと、夫れは畢竟戰勝國たる英佛が戰勝の結果作り上げた自分達に都合の良い世界的領土なり權益なりを、戰敗國たる獨逸は勿論英佛以外の他の國をして一指も觸れさせぬ様にし、之に觸れんとして武力を行使せんとするものは、國際聯盟の名に於て、世界平和を亂すものなりとの判決を與へて、彼等に都合の良い大義名分を作りあげ、而して此の都合の良い大義名分を振りかざして、聯盟規約違反國に經濟制裁を加へて、之を押へつけ、尙聽かさざれば列國の武力を動員しても、之を屈服せしめんとした誠に巧みな機構であつたのであります。從て此の國際聯盟の存続する限り、英佛は枕を高くし國際正義の美名に隠れて安逸を貪る事が出來たのであります。何故かと申しますと、第一次歐洲大戰

の結果たる、かのベルサイユ平和條約は一言で申しますと、歐洲に於ける彼等の強敵たる獨逸の武力を完全に解除し、その海外植民地を一切もぎ取り、加ふるに彼等をして再び起つ能はざらしむる程の年々の賠償を規定したものであり、さう云ふ事實を作り上げた上に、此の既成事實を破壊せんとするものは、世界平和の敵であるとの判決を國際聯盟の名に依つて下し、又其の聯盟の力に依つて抑へんとしたものでありますから、彼等としては誠に都合の良い機關と謂はねばならぬものであつたのであります。然も彼等は之を以て尙満足しなかつたのであります。彼のウィルソン大統領の提唱致しました民族自決なる美名の下に、歐洲の國家群を彼等の都合の良い様に築き上げ、此等國家群を種々なる名目の下に、彼等の同盟側に引入れて自分達に敵と思はれる様な國々の行動を監視せしめ、又いざと云ふ場合に此等同盟國を驅つて反對國を制壓せんとするの手段を準備して居つたのであります。

三

次に之を東洋に於ける状態に就いて考へて見ますに、歐洲大戰に依つて歐洲に於ける地盤を確保致しました英佛

は、米大陸に覇權を握る北米合衆國と共同して、東洋の新興國日本を抑へんと企圖しまして、此を具現化せんと試みましたが、かの一九二二年の華盛頓海軍縮小會議でありましたので、此の會議に於いて英米佛の所謂民主主義國家は平和維持の名の下に、日本の軍備擴張を抑へて我が武力を常に彼等の劣勢下に置き、以て太平洋に於ける脅威を除かんとし、更に支那の領土保全、主權尊重の口實の下に四箇國宣言或は九箇國條約なるものを提唱致しまして、日本の支那に對する進出を封じ、支那に於ける彼等の既存權益の保全を圖ると共に、彼等の利益の優先的地盤を築き上げんとしたものであります。其の間彼等は支那に於ける排日風潮を巧みに利用致しまして、日本を東洋に於て孤立せしめ、其の進展を阻止せんと凡ゆる策謀を回らしたのであります。

而してこの策謀は我が國の支那に對する平和的進出を阻害したばかりでなく、由來以夷制夷するの外交策に長ずる支那をして、英米を頼んで我が國に不當な妨害を敢てし、遂に今日の支那事變の素因を作るに至つたのであります。英米佛にして當時眞に國際情勢の將來、人類の幸福を遠視し得るものがありましたならば、或は今日の如き不幸

なる歐洲戰爭は勿論、支那事變の勃發をも見なかつたのでは無いかと痛切に感ぜられる次第でありまして、之は今日の英米爲政者の深く反省すべき點ではないかと考へられるのであります。

四

ベルサイユ平和條約と之によつて生れた國際聯盟並に華盛頓軍縮會議は、第一次歐洲大戰後彼等が採つた處の自己保存、即ち彼等に都合の良い既成事實の保持を目標とした外交政策の最も代表的なものであります。彼等は其後に於きましても或は不戰條約の名の下に或は第二次、第三次軍縮會議の開催に依り、種々なる名儀體制を整へまして、自己の野心を巧みにカモフラージュして其の目的貫徹を達成せんと不斷の努力を拂つて居たのであります。世界到處に不當の利益を獨占せる彼等として、日獨の如き新興國家の擡頭が彼等の安眠を脅かすこと多大なるものゝあつたことは、誠に無理からぬ處なのであります。

今次歐洲戰爭前例へば歐洲に旅行せられた方は何人も氣附かれたであらうが、近くは上海、香港から新嘉坡、ペナン、コロンボ、アデン、スエズ等を経てマルセイユに船

が到着する間に、各港に英國權力の及ばぬ所はなかつたのであります。彼等が日没せざる國と誇つたことは、誠に宜なる哉との感深きものがあるのであります。夫れと同時に一面歐洲に旅行せんとするに、英國の承認なくしては一步も動けぬと云つた印象を強め、甚だ考へさせられたのであります。今から數年前、諸君の記憶に今尙新たであらうかと思ひますが、かの英國水兵の基隆に於ける不當行為事件があつて、日英兩國政府間の交渉になつたことがありましたが、此の事件の経緯は別と致しまして、當時英國政府は若し日本が英國の云ふことを聽かなければ、英國は日本船の歐洲航行に對して便宜を供與せぬと云つた様な態度を示したことがあつたのであります。斯くの如き英國の態度は、果して世界海洋の自由の守護神と自負する國の探るべき態度でありませうか？深く考へさせられるのであります。

五

以上申述べました事は、今次事變前に於ける世界の情勢に就いて、唯その要點を簡単に申上げたのであります。斯る彼等のみ都合の良い情勢を新興國たる日本や獨逸

が何時迄も易々諾々として之れに追隨して居る可きものでは絶對にないのであります。遂に獨逸は臥薪嘗膽二十年の今日猛然として立ち上つたのであります。東洋に於いては此より早く、既に昭和六年の滿洲事變を契機として、日本が敢然英米佛勢力に依り築き上げられた現状打破に向つて起つたのであります。此の見地より致しますならば、東亞に於ける支那事變と歐洲に於ける獨英抗争とが、日獨兩國の目指す理念に於いて相一致するものであり、従つて又最初に申上げました日獨伊三國同盟が締結せられた事は歴史の必然であることは、極めて明瞭なる事なのであります。私をして言はしめすならば、滿洲事變は日本の聯盟脱退となり、支那事變は獨波開戦の誘因となり、遂に今日の第二次歐洲大戰に迄進展して參つたのであります。故に、かの昭和六年九月十八日柳條溝の一發こそ、過去一世紀に亘つて世界を風靡した、英米民主主義勢力に對する世界新秩序の勇ましき第一聲と謂はなければならぬのであります。私は此の現状を打破し世界の新秩序を建設することに依つてのみ、始めて眞個の東亞永遠の平和、世界人類の幸福が齎されるものなる事を確信するものであります。然るに英米民主主義の一派は、或は民主主義擁護を

標榜し、或は武力に依る侵略者全體主義打破等の常套的スローガンを以つて、日獨伊新興勢力を何とかして抑へ付けんとし、懸命の努力を續けつゝあるものであります。今日米國が英國に對する武器貸與法による援英政策を始め、米國艦船等による哨戒區域擴大の如きは、最早中立國たるの域を完全に逸脱し、中立法規違反の如きは敢て問ふ處に非ずとの態度すら示して居るのであります。更に日本に對する牽制策の如きも亦同様なのであります。

六

かの一昨年七月米國側に於て、突如として放棄宣言を見ました日米通商條約問題以來の米國の我が國に對する態度を見ますに、持てる國米國の常として従來自國より供給して居た屑鐵、航空機、機械類、銃鐵、鋼材或はガソリンの一部を始め、鋼、ニッケル、亜鉛等に就いて輸出許可制の方法に依りまして、日本の重工業に對する極端なる壓迫を加へつゝあるのであります。斯る英米の手に依る對日壓迫が、日本の大東亞建設の大業に多大の支障を來すものであることは、固より否むことの出来ない處であります。然し乍ら我が國の大東亞建設が、斯る壓迫、斯る策謀に依つて

中絶せらるべきものでない事は言ふ迄もないのであります。今日吾々が敏速に南方政策に邁進するに至りました重大なる素因が、この英米の對日壓迫に依るものであることは、英米爲政家に於ても十分反省すべきであると考へるのであります。

過般の我軍の佛印進駐が、嘗て同方面に於て援蔣物資八割を輸送した事實に原因せるが如く、今日英米の我が國に加へつゝある重要物資供給不當壓迫が其の後強ければ強い程、我が南進政策を強化するものであることは、彼等に於ても篤と考慮すべきであると思ふのであります。勿論我が國の南方政策は飽く迄平和的であります。又大東亞共榮圏建設の一環作業たるべき南方共榮圏の建設が、簡單に我が國の必要とする重要物資の獲得と云ふ事にのみ存するものでなく、我が國南方政策の目指す理念が、南方諸民族の共榮にあることは申す迄もないのであります。

七

過去百年に亘る支那南洋に對しての英米佛諸勢力の植民地獲得史を緝き、其の彼等の勢力下に於ける諸領地に對する彼等の植民政策を審さに検討致して見ますと、彼等が

如何に植民地を擄取して來たかは、一目瞭然たるものがあるものであります。然も一方に於いては廣漠數千里の大沃野、大森林其の他の未開發大資源を藏するにかゝはらず、彼等に都合悪しと見るや、人口稠密に惱む異民族の入國に禁壓を加へて、之が開發を一步も許さず、之を以て國際正義なりとなすに至つては、其の眞意の奈邊に存するや吾々は判斷に苦しむざるを得ない次第であります。

話は聊か横道に入りますが、今日米國は支那に對し恰も支那民族の人道的保護者なるかの如き態度で振舞つて居り、蔣政権亦かく考へて居る様であります。十九世紀末支那労働者の移住を禁じたのは、實に米國自身であつたのであります。私は此の事實と今日の事實とをどう結びつけて解釋すべきか、解するに苦しむものゝ一人であります。話は前に戻りますが、英米の對日壓迫は日本の對南進出を更に南方より喰止めんと凡ゆる策動を續けつゝあるものであります。今年春我が國の韓旋に依り成立しました泰佛印國境紛争調停も、一時は英米の策動に依つて之を妨害せられんとした事實があるのであります。更に最近にはシンガポール方面への兵力増強等凡ゆる手段を以つて、佛印、

泰、蘭印を我が國から遊離せしめんと苦心しつゝある事は、覆ふ事の出来ない事實なのであります。我が國は斯る壓迫に對しては、敢然之を排撃するの決意と用意とは持つて居るのであります。

八

然し乍ら我が國の莫ふ處は飽く迄平和的解決なのであります。かの日獨伊三國同盟の締結が戦争を擴大せんが爲めのものでなく、平和の招來を一日も速かならしめんが爲めのものに外ならぬ事は、當時松岡外相等の言明した通りであります。先般日蘇間に結ばれた中立條約が、同様の意圖に出て居る事も明らかであります。又我が國の南方政策が飽く迄平和的なる事は、最近に於ける佛印との經濟協定を見ましても、將又半年に亙る蘭印交渉今尙解決せざるに拘はらず、何處迄も平和的打撃に依り解決せんと努力しつゝあるを見て明らかであらうと思ひます。幸ひにして蘭印交渉が解決致しますれば、友邦泰國を始め今後佛印蘭印との經濟的關係は、愈々密接なる事を期待せられるのであります。此の經濟的文化的提携に最も大なる役割を演ずるものは申す迄もなく臺灣なのであります。

九

臺灣が過去五十年に亙つて努力して参りました所の、熱

帯地域に對する科學的文化的的研究と、經濟とが、今後此等南方諸地域を活動舞臺とする南方文化發展の種子般的役割をつとめ、更に臺灣本島民が南方諸民族融和提携の仲介者となるべき使命を果す時が到來するのであります。茲に臺灣が大東亞共榮圈建設の礎石、中核體としての世界史的大使命を擔當するものと云ふ可きであらうかと考へるのであります。本島民六百萬の責務の誠に重大なるを思ふのであります。

更に一方に於きまして不幸にして、英米一派の策動の爲め、我が國に於て信賴する平和的手段に依る南方共榮圈の確立成らず、彼等の壓迫に依り彼等との間に武力抗争を見るが如き情勢に差迫られんとする場合、我が南進基地としての臺灣の演ずべき役割の重大なるものがある事は、茲に申す迄もないのであります。以上の事實を考へます時に、吾々臺灣に居りますものが此の世界史上未曾有とも言ふべき眞個の平和建設に向つて働きつゝある我が國の大使命達成に就ての役割は、詢に大なるものがあるのであります。私は、島民各位に於かれましても、此點を充分に自覺せられて、皇民としての道を全ふせられんことを希望してやまないであります。

# 南方共榮圈最近の動き



佐藤 佐

赤道附近は無風帯であるから、エメラルドグリーンの色透き徹るやうな海水は、明るい太陽の光を反映してキラキラと小池の小波の如く靜である。何うやら白色人の壓迫搾取下にあつても、諦め顔に左程腹をも立てず、半ば眠つてゐるやうな土人の姿をあらはしてゐるやうだ。

然しこの水牛のやうなおとなしい南洋土民とて必しも長夜の夢にのみ耽つてゐる譯ではない。第二次歐洲大戦亂に際會して、その支配者たる歐米列強

國が今や喰ふか喰はれるかの死闘をつとけてゐるのであるから、いくら柔順に馴らされてゐても何等かの影響を被り、動搖せずにはゐられまい。

課題はこの動搖振りを讀者に傳へよと命ずるのである。動きといへば、心の動きと物の動きと二方面から見ることが出来る。心の動きも、被支配者である南方土着民の心の動きと支配者たる歐米人の心の動きに分けて觀察せねばならぬ。物の動きとは南方所産の物資の動きである。人心の動搖と物資の移動とは別箇のものの様であるが、本當はなかなか關聯がある問題であるこ

とは、恰も吾々人體に於ても肉體を離れて精神の動きを考へられぬし、精神を無視して肉體の活動を求めることが出来ないと同様である。こゝでは紙數の許す限りこの兩方面からの「動き」を概観して見ようと思ふ。

本論に入る前に南方共榮圈とはいかなる範圍を指し、いかなる内容を包んでゐるのか。又いはれるところの狭い日滿支共榮圈とか廣い東亞共榮圈とはどんな關係に立つのかを定めておかう。

世に南方國策とか南進論とかいふが、その南方とか南とかはいづれの地

に際會して、その支配者たる歐米列強

國が今や喰ふか喰はれるかの死闘をつとけてゐるのであるから、いくら柔順に馴らされてゐても何等かの影響を被り、動搖せずにはゐられまい。

とは、恰も吾々人體に於ても肉體を離れて精神の動きを考へられぬし、精神を無視して肉體の活動を求めることが出来ないと同様である。こゝでは紙數の許す限りこの兩方面からの「動き」を概観して見ようと思ふ。

域いづれの國々を指すのであるかといふに、私は經度にするに東經九〇度から東經一五〇度即ち東はニュウギニアの東端から西は緬甸と印度との境を指し、南北では南緯一〇度から北緯は二五度以内と見るのである。尤も二五度以内からは臺灣や支那大陸を取り除かねばならぬ。然らばその内容はといふに、この圏内に於ける各地域は獨立國の泰を除くの外はすべて英國や佛國や、米國や、和蘭の領土となり、土民は被征服、被支配者の立場にある故彼等を夫等の支配から解放してやり、各々獨立を享受し相倚り相扶け共存共榮をしてゆかうといふのである。日滿支三國圏はすでに形成され、相互の政治的關係は律せられ、經濟的關係は研究され、夫々實施すべきものは實踐に移されてゐるけれども、政治の方面は兎も角も經濟方面に於てはまだ完全なる

自給自足は樹立されぬから、茲に南方諸地域を誘致合同して有無相通の實を擧げねばならぬ。

も亦東亞共榮圏の一構成分子たるの運命を持つてゐる。

二

加之南方共榮圏の参加に依て東亞共榮圏の國防陣も完成されるであらう。見よ臺灣を中點として三、五〇〇軒の半徑を描く時、西は緬甸からアングマン諸島ニユバル諸島大スンダ列島小スンダ列島と青嶼を並べた如く、東に向つて半圓線上に行儀よくも蜿々として連る天然の防衛陣を布いてゐるのである。天の配材其妙を盡せりといふべし。然しながら之丈にて東亞共榮圏はまだ完璧とはいひ得ない。どうしても其外廓の一翼として西に印度を加へ南に濠洲を副へなければならぬ。蓋し棉花を供給するものは濠洲であり、羊毛を提供するものは濠洲である。亞細亞諸民族に棉花と羊毛を買ふて貰はねば、彼等の生存に係ることなれば彼等

倍而愈々本論に入るのであるが、その前に、然らば今から約二五年即四半世紀前の第一次歐洲大戰當時之等南方の動きは如何であつたであらうかといふに、當時は彼等の支配國が多くは聯合側に加擔するか、若くは好意的中立を守つて擧て獨立の獨塊側を袋叩にして今日とは反對に優勢だつたから、土民にして獨立の機會を狙つたものもあつたらうが、終に之を逸して仕舞つたのである。否寧ろその老翁なる甘言好餌に釣られて、印度は百數十萬の土民兵を歐洲戰線に派遣し、幾億留比の戰債に應じ、自餘の植民地も夫々母國の急に貢獻するところあつたのであるが、扱て戦後はどうであつたかといふ

の有力分子は殆ど檢束されて仕舞つた。一方皇軍進駐を機會に毅然として起つた佛領印度支那の高蒙教一味數千名は、悉く拉致されて行衛不明となつた事實すらある。斯くの如く燃え揚つた反逆の炬火も、直に揉み消されて仕舞ふから、志ある者も當分は地下に潜ぐつて、近く來たるであらう支配國側の全面的敗戦を待つより外は無いのである。

に、彼等の所謂「パンの代りに石を與ふるもの」であつた。印度に對しては自治供與の約束を裏切り、他の植民地に在りては夫々報償どころか、壓迫擄取の手に緩めなかつた。それどころか戦後反動的に襲つた世界的不況はこの靜謐な南洋にも見舞ひ、農産物の生産制限をして土民から生存の手段を奪ひ、自國品を強制的に購買せしむる爲に、戦時中潤ふてゐた安價な日本品を高關稅の設定に依て閉め出を喰したのであるから、土民は罪なくして塗炭を嘗め飢民状態に洒らされた。

被支配者たる土民も考へざるを得ざる立場に強ひられてゐるのである。

三

而してそのやゝ貧困からまだ起ち上らぬ内に今度の第二次歐洲大戰争が勃發した。彼等の支配國は何れも参加せるのみか、前述の如く和蘭はその本國を征服され佛蘭西本國も次いで崩え、英國の消長も亦豫測を許さぬといふ全く反對の情勢となつたのであるから、

既に印度の民衆指導者は戦争参加を絶対に拒み抜いてゐる。英國は百方手段を盡して之が懐柔に努める一方、有力者を次々と收監した。勿論支配國側は一切外來の報道を遮斷し、自國に有利な宣傳をして民衆を欺くは勿論、少しでも自國に不利な言動を爲すものは強烈なる斷壓を行ひ、有力なる反動分子を或は收監し、或は闇から闇に葬るの非常手段を執るが故に言論機關無く、武器を有せざる土民は胸中は反逆に燃えながら手も脚も出ぬ有様である。

四

然らば支配者側の動きは如何にといふに、彼等は内は前述の如く土着民の擡頭を如何に抑へんとするかに悩み、外は日本の南方進出に脅かされるといふ内憂外患の裡にありて最後の足掻きをしてゐる。南印政府は首を斷たれても動いてゐる蠅蚋の胸の如き存在である。夫にも拘らず、言ふことは一人前

斯くて蘭印爪哇では獨立派の果敢なる闘士タムリンは擧られ、共同志は次々に收監された。緬甸の急進派タケン黨

夫にも拘らず、言ふことは一人前







# 最近の佛印事情

南方協理 菊池門也

## 燃え上る光復の心

總面積七十四萬方軒。人口二千三百萬を擁する佛領印度支那、今日白人治下に轍跡のあえぎをつゞける東京、安南、交趾支那、老撾、カンボヂヤの諸邦も百五十年前を顧みれば、華やかなりし越南王朝、カンボヂヤ王朝等の姿がありくと眼先にちらつくのであつて、維新帝の時(三十年前)に成つた、越

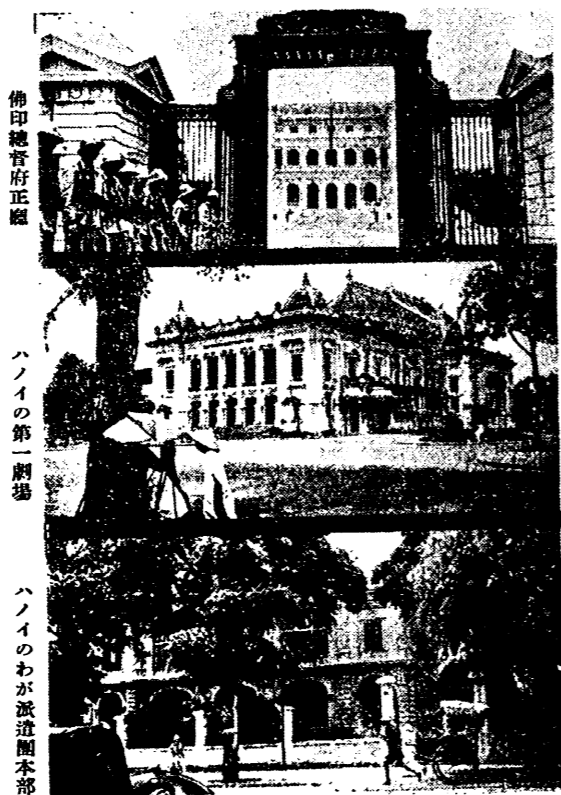
史搬要しも、尙大南國の名の下、北圻、中圻、南圻に區分し隣接國に高棉、哀牢の地名を掲げてゐる。

其の北圻は即ち東京、中圻が安南の大部、南圻が交趾支那、而して高棉はカメン即ちクメルでカンボヂヤを指し、哀牢はラオスの古い名前を其まゝに呼んでゐるのであることはいふ迄もない。

今日あの山紫水明、我が京都を偲ば

しむる順化の町に入り、形態のみ華麗な安南王宮を仰ぎ、郊外山ふところの裏なる嘉隆、明命等現王朝の諸陵を拜する時、異國人である私でさへ、國亡びて山河ありの感深く、低徊願望去る能はざらしむるのである。況して王朝華やかにし事蹟を夢みる越南の人々の心をや。

國運恢復の慷慨の氣が沸き起るのは蓋し當然であらう。



佛印總督府正廳

ハノイの第一劇場

ハノイのわが派遣團本部

由來所謂大南國も其接壤の地高棉、哀牢も決して貧乏國ではなかつた筈である。今日年々輸出する米だけでも二百萬石を下らない。外にゴムも出れば石炭も出る。棉の如きも亦極めて優良種を産するのである。而もそれで一年一四程度の人頭税さへ満足に支拂ひ

得ぬものが大半であるといふのは何の爲であらうか。河内の洋品店でカラーを買はふとするとき平均の大きさが十三寸であるといふが如き亦以て彼等が如何に弱少な身體をかこつてゐるかが想像される。何が彼等をさうさせたか。而も彼等は昇龍王城(河内)華やかな

りし陳朝の時代、我が弘安の役の直後、二回に亘つて侵入して來た元の忽必烈の大軍を悉く殲滅して、其國土を保つたといふやうな、赫々たる歴史を持つのである。高棉の國即ち現カンボヂヤに到つては、今日世界の一大遺蹟として名高い千百年前の都アンコール・トムに首都を持つたクメル(カメン)の末裔としての誇を失つて居らぬ筈である。

三色の旗の色ややく褪せて行く今日此頃、彼等國家光復の氣分は奮勃として、捲き起りつゝあることは事實であつて、夫れと反比例して佛印政權はまた極力之を壓迫取締り特に交趾支那方面では、高大致の信仰の下に集まる安南光復の志士達幾千百人が、邪教取締か共產黨取締かの名によつて一網打盡に捕縛されたとの噂が専らである。さうした結果は、舊越南國人をして

表面矢張り碧眼金髪の人を恐るること  
虎の如きものあらしめるけれども、八  
紘一字の皇風の光被するところ、東亞  
共榮圏の理念の徹底し行くところ、彼  
等が「我等の越南國」を欲する氣持  
は、日に月に燃え盛つて行くことは亦  
如何ともすることが出来ぬであらう。

### 交通の状態

此の二月のはじめ、私は臺北の飛行  
場を午前八時稍々過ぎに出發して、夕  
刻には往年の昇龍城、現佛印政權の存  
在する河内で葡萄酒の杯を擧げ、翌十  
一日は、實に皇紀二千六百一年の紀元  
の佳節を、此の城頭に祝福し奉る感激  
に浸ることを得たが、同時にまた世界  
のせまくなつたといふ感も深かつた。  
佛印領内は治安の維持もよく行届  
き、其上道路が頗るよく構築修繕され

てゐるので、其後私は何の不安もなく  
旅をつゞけ、而も極めて快速な旅が出  
來た。例へば西貢から大寧、コンボン  
・チャムを経て昔のクメルの都アンコー  
ル迄は五百軒に近く殆んど東海道五十  
三次を江戸から京への道程であるが、  
それを僅か十時間で突走つてしまつ  
た。其間にはメコンの渡しがあつて三  
十分は渡河に消費し、コンボン・チャム  
の晝食に小一時間を、尚中途でサイグ  
ーを飲むだけの道草を喰つてそれであ  
る。其の代り風呂釜を踏抜いたり、俗  
衣の干したのに氣絶をするといふやう  
な彌次喜多の笑劇を生み出すだけの餘  
裕のないセツカチの旅となることは已  
むを得なかつたが、短時日に日本領土  
の全部よりも廣い地域の外貌を一瞥す  
ることが出来たなどは、此の國の交通  
の發達と治安の良好なのに些か感謝せ  
ずには居れなかつた。

情報部編  
佛領印度支那  
及泰國明細圖 2.00  
發賣所 臺灣時報發行所

昔の海雲嶺(順化—トゥラン間)今日の  
Col. de Nuevas (雲の峠)二十軒は  
箱根八重にも似てそれが半ばは雲霧に  
とざされて居り或はまた大寧の西北カ  
ンボヂヤ國境を作るチャングル地帯幾  
十軒、何れも殆んど人ツ子一人通らぬ  
長帳場を、自動車で突走りながら、土  
匪も馬賊も心配のないなどは、往年の  
支那輿地の旅を思ふてあまりにも運庭  
の大なるに感心した。  
而して其の凡そ自動車を走らす程の  
道路。就中自動車運送のための標識は  
實に到れり盡せりといつてよく士民は

また自動車に對しては之を避けること  
に極めて從順であるので、時速百軒を  
出して何等の危険もなく、大抵平均  
七八十軒でスツ飛ばすことが出来る。  
自動車のための便がかく周到に考へ  
られてゐる一方、炎熱の地に於ける避  
暑の設備も亦極めて良く、河内郊外五  
十軒に在るナム・ダオの如き標高實に  
千米、而もそれを三・四軒の道程の間  
に平地から山上へと自動車で昇つてし  
まふ。其の道路の施設は勿論、途中に  
於ける車への給水と機關冷却の用意も  
完全に整へられ、而も山上は總督の別  
荘を中心に、華麗莊嚴な別荘やホテル  
が白赤桃色の色とりどり、青葉の蔭に隠  
見する有様は、晝に見る龍宮のそのま  
ゝ此處に造り出されたかと思ふばか  
り。更に交趾支那のため——寧ろ其處  
の佛人のため——に設けられたグラッ  
トの方はより以上のものがあると聞

く。

併し此の避暑地も自動車道も考へて  
見れば安南人のために、カンボヂヤ人  
のために、ラオス族のためには何の有  
難味もないもので、それは唯此の地を  
佛印の女の物賣り



支配するフランス人達の幸福と享樂の  
ためにのみ力を致されてゐるといふ悲  
口も出るのは致方なからう。  
自動車の旅の爽快な割合に汽車の旅

はいさゝか不愉快である。車室の設備  
の不良といふのではないが、輻輳の狭  
いためか、路盤が悪いのか、便所に行  
つて満足に小便が出来ず、コーヒーを  
飲まうとしても半分はこぼれてしまふ  
程の激しい動搖で、寢蓐に入つても容  
易に寝つかれぬ心地悪さであつた。其  
上汽車賃も可なり高い。  
又河内から泰の盤谷迄直通すべき鐵  
道は今日尚ほ西貢とカンボヂヤの首都  
ブンベンとの間、及び泰國境に於て  
一部分が開通して居らず、前者は船か  
自動車、後者は自動車か徒歩かの連絡  
を待たねばならぬのも不便の一つと言  
へる。  
泰國境方面は其の大部分が新たに泰  
領となつたことであるから、何れ其方  
で建設するであらうが、西貢—ブン  
ベン間は何時頃出来るであらうか、不  
愉快といふやうなことは別として、此

間の完全なる鐵道聯絡だけは急速に實現して欲しいと思ふ。

序でながら河内と西貢。東京と交趾支那方面。即ち北部佛印と南部との連絡は上述のあまり早くなく動搖のほげしい鐵道二日二夜の時間を費すか、でなければ例の自動車道を走ることによつて連絡される外、近來は飛行機の連絡もあるが、何分其間には安南國といふものが横たはり、距離も亦千七百餘軒。

北の氣持は直に南に通じない。殊更西貢を中心とする交趾支那は純然たる佛國の直轄殖民地であり、華僑の充満する地域である。皇軍進駐と共に北部地方(東京地方)の對日感が良好となるに拘らず、南方に於ては之と反比例するといふのもかうしたことが相當作用して居ると思はれる。併し北方がヴィシー派であつて南方が英米に牛耳られ

るドゴール派であるといふやうな裁然たる區別がある譯ではなく、またさう單純に色別することはいさゝか尙早ではなからうか。現に最近のニュースによると西貢でも印度人が第一に、それについて華僑やフランス商人が大分日本側に向けて商談を持ちかけて來出し、たとも聞くのであつて、要は日本の國力が正しく強く伸びて行くことによつて問題は解決されて行くのであると考へる。

### 農業

佛印の經濟を動かすものは農業である。即ち米、茶、珈琲、ゴム、玉蜀黍等

農村の産物が主位を占め地下資源は之に比べて未だ利用されてゐるものは僅かである現状で、工業もあまり發達し

てゐない。農産品中では米が其の第一を占めることは勿論で、年々二百萬噸内外を國外に輸出してゐる。

安南、カンボヂヤ兩國でも米は出來るが、殊に東京の紅河の貫流する區域、メコン河の作る交趾支那の三角洲、此二地域は最も豐沃の地で、米田面積は其の總面積に比し、東京一〇%、安南五%、交趾支那三五%、カンボヂヤ四%、老撾一%、といふ比率を示し、交趾支那が最も廣い。米の品質も亦東京米より西貢米の方が良いと云ふことである。

利用されぬ地域が尙頗る多く、而も原始的な幼稚な農耕法を以てしても尙且つ此の如き米の成る國であつて見れば、若しも我が日本の技術と體験とを以て之を改良する場合、其收穫は幾層倍するかわからない。

東京地方を旅行して見ると水溝より五六尺も高いところに在る水田へ、五六人の農夫達が朝から晩迄かゝつて籠のやうな釣瓶で水を汲み上げてゐるといふ悠長さであるが、それは勞力の極めて多い東京であるから好いとはいへ、若し豊富な水力を以て發電し、其電力を利用して水利を便にしてやるならば、此の多數の人間の勞力を節約して他に流用することも出來、灌溉も一層都合よくなつて一石二鳥も三鳥も得るであらうと思はれたのである。

カンボヂヤには有名なトンレサツプ(大湖)といふ湖水があり、メコンの氾濫を調節する丁度揚子江の鄱陽湖や洞庭湖の様な役をするものであるが、乾燥期には約七千方軒の地積が湖水の周圍に求め得られるときへ開くのである。然るに現在では其利用は全く行はれてゐない。交趾支那に於ても亦かゝ

る地域は尙ほ多分に存在するのが見える。是等も亦メコン河といふものを巧みに處理することによつて、更に多くの米産地が得られよう。

米の外にも棉の増産は眞剣な研究を要し、ゴムも現状では満足出來ず、ジュート栽培の如きは特に米の輸出に關聯して速に考へねばならぬところの問題である。何れにしても佛印全般の農業は、之を東亞共榮圏の共存共榮の立場なり佛印一般民の幸福の上から全面的に見直さねばならぬのではなからうか。専門家の深甚なる研究を望むものである。

### 華僑の働き

茲に我等の注意を拂はねばならぬものは、此佛印の死命を制するともいふべき米の取扱が、殆んど全部華僑の手

に依つて支配されてゐることであつて、誠に西貢につゞく華僑の街堤岸に入つて見ると、全市米の山であり運河に接して幾十百とならぶ倉庫は總て是米、岸に繋ぐ船も、運河を上下する舟も皆是米、而して街の内外大小の工場は悉く精米場である。

而も彼等華僑は單り市場に於て米を取扱ふばかりでなく、田舎の何處迄も入り込み、農夫達に農具を賣りつけ、金を貸しつけ、其の代償として青田の中から米全部を買付けてしまふのである。農夫に對しては非常なる搾取であり、彼等華僑にとつては莫大な不當利得といへよう。

働けども自己が作った米を腹一杯食ふ由もない佛印の百姓達、其の何時迄も富を得ぬのは此の華僑といふ寄生蟲の存在によることを自覺する必要があると思ふ。

かくして堤岸の支那町は常に絃歌の聲絶えぬ不夜城であり、佛印農民の血と膏との結晶が、此不夜城中に紅燈緑酒の下、美妓の嬌態の間に取引さるゝ。うちは、安南人も高棉人も暹羅の子孫も浮ぶ瀬はないのである。之は單り米のみではない。

カンボヂヤの如きタイ同様に小乗佛教の横溢する地方では、自ら利慾の念も薄いのはなからうか。村といふ村、物賣る店は悉く支那人のものであり、首都プノンペンに如き夫れはカンボヂヤ人の町といふよりもカンボヂヤ王宮を圍む支那人の町と云つた方が好い姿である。

西貢の東に在る嘉定は、現安南王朝第一世嘉隆皇帝龍興の地として尊ばれ、其處には創業の功臣黎文悅を祀る黎公祠があるが、其廟に入つて見ると扁額も對聯も半ばは是支那のもの、中

には光緒帝の勅額さへ見られ、参拜してゐるものも亦大部分は支那人で、内郡は半ば例の道教祠と化し、別に西貢郊外の名物となつてゐる玉皇殿と殆んど同一な、華僑達の福壽を禱る場所となつてゐる如き、黎將軍定めし地下に苦い顔をしてゐるであらうと思ふと共に、華僑の力遂に越南將軍の廟をさへ支那化してしまつたかとも微苦笑されたのである。

而して此等華僑が重慶政府の弗箱であり、此華僑の住むところ蔣介石の肖像が賣られ、長期抗戦の文字が見られるのであつて、其異窟である交趾支那地方即ち南部佛印の空氣が自ら不愉快なものゝ多いのは是亦自むを得ぬであらう。

併しながら我國威の伸び行くところには百鬼も夜行を許さず、先頃私が西貢に足を入れた頃でさへ「今少し佛印

政府が、重慶のテロ團を取締つて呉れるなら、私共(華僑)は大手を振つて、貴方がた(日本商人)と取引が出来るのだが……」

と裏門からこつそり日商の戸を叩くものも可なり多くなつて來たと聞かされた。

### 地下資源と工業

「佛印の工業は精米業の外には無い」と誰かと言つた程に工業の見るべきものは少い。

電力なども甚だ貧弱である。唯一の精米工場でさへも多くは自家の得る糶を燃やして蒸汽機關を動かしてゐると言ふ有様であるが、由來佛印には山多水も豊富であつて、水力電氣を起す能力は多分に存在し、専門家の觀察によれば、臺灣以上に低廉なる經費で電

力を供給することが出来、而も其電力資源は無盡蔵といつても差支ない程であるといふ。

其上東京のホンガイ一帯から優良な無烟炭が多量に産出するのである。石炭以外の地下資源に就ては、今之

を尙早に發表することは避けねばならず、又元來が地の中のことであつて見れば、見透しのつかぬのは自然であるかも知れない。

併し鐵礦だけでも東京地方紅河の兩岸には相當に存在し南はカンボヂヤの

### 志願兵制度實施記念

## 脚本を募集

### 皇民奉公會

- 皇民奉公では六百萬島民待望の志願兵制度實施決定を記念し左記規定に基き特別志願兵制度を題材とする映畫シナリオを廣く一般より募集することとなつた。
- 募集規定
  - △題材 志願兵制度實施に取材し本制度の意志とこれに對する島民の
  - △趣意と感激を織込み、然も劇映畫として變化と興味あるもの
  - △四百字詰原稿用紙八十枚から百枚迄別に三枚以内の梗概を附すること
  - △締切は本年八月末日
  - △送先 臺北市新公園内皇民奉公會中央本部宛、封筒に「志願兵應募脚本」と朱書のこと
  - △賞金 一等(一篇)——一千圓 選外佳作(二篇) 各二百圓
  - △審査員は追つて發表す
  - △人選發表 本年九月下旬
  - △人選作品の版權及び上演權は本會の所有とす
  - △應募原稿は一切返展せず
  - △應募原稿の第一面に現住所職業氏名(筆名の場合は本名)を明記のこと

北部及南海岸Kampatに近い島々にも發見されてゐる上に、雲南省境支那領土から出る蒙自炭は其の精鍊にも適すると聞いてゐる。虎に喰はれることを恐れずにもつと深く奥地に入り込めば尙ほいろ／＼なものが發見されるであらう。何れにしても將來は此等地下資源の採掘と共に上述の豊富にして安價に得らるゝ電力の供給によつて、諸工業の起るべき機會の來らんことを嚮つて止まない。

### むすび

過日臺灣を訪れたタイの學生達は私に、

「臺灣に來て田舎を視、始めて日本の八紘一宇の政治の真相がわかつた」と語つた。若しも佛印の人々に見せたなら如何であらう。



榮を祈りつゝ自動車内の人となりまして、約三十分行程にて盤谷市内に入つたのであります。市内も案の如く官衙廳、民屋家毎に兩國々旗が掲揚せられて居りまして、斯くの如きは私の海外旅行中未だ嘗て一度も経験した事のない事でもあり、何とも言い難い感激に打たれたので御座います。

斯くして指定されたホテルへと着いたのであります。此のホテルは十年前、即ち二度目泰國旅行の際、泰國當局の指定によつて宿泊した事のある泰國一流の高級旅館、當時ローヤルホテルと呼んで外國人の經營であつたのであります。金か力か、時勢か、何が斯くあらしめたかは暫く措くと致しまして、其の所有權は泰國政府にあり、之れを極めて低廉なる家賃で、邦人が借

り受けて居るのでとの事を聞きましては、此の一事を通じて、既に兩國間の國際事情の一般を想像して頂く事が出来ると思存します。

### 躍進的な發展

私は此の邊までを前置きと致しまして、泰國の見聞に就いて申し上げます。勿論私個人の感想に終るのであります。立場を異にし、觀點が變りますれば又別な御意見もある事と存じます。加ふるに譬へ見聞致しましても、筆にする事を憚らねばならぬ事情に屬する事もあらうかと思はれますので、極めて不徹底に終るのではないかと恐れるものであります。さて私は先きにも申し上げました様に、十年前のシヤム國を豫備知識として、今日泰國が如何相成り居るや、僻遠の地は別と致しまして、

首都盤谷は此の國の國勢の推移を語る中心でなければならぬのであります。から、飛行場からも自動車中に於てからも、瞥見的に丈々にても、見逃さない様に心懸けました。先づ人口の問題から致しますと、十年前の盤谷は四十萬乃至五十萬位に推算されて居つた様であります。今日は六十萬乃至七十萬位とも申されて居ります。處より見ますと、其の増加は十割と迄は行かなくとも、五・六割増は確かだと申されます。さすれば人口的に見ますれば、我臺灣の諸市の實情に比較して見

ましても、非常なる躍進的發展だと言ひ得られるのであります。果して此の事實が其の他の、例へそれが都市の外觀的容相なりにても具現されて居るか否か、此の判定を補するに足る主要な要素の一つだと考へられるのであります。で私共は飛行場での嚴重なる税

關検査が済むと、先づ此の飛行場の規模とか、これと首都とを結ぶ道路なりその道路を通じて何が企てられ、何か新しい造營物はないか、或は交通量は何うか、風貌、衣服等を通じて見た國民の體位、民度、更に又河川、耕地等の整理の状況等からして直感を度々注意を拂つて見たのであります。部分的には別と致して、先づ全體を通じて見ますならば確かに其の發展の目醒しい物のある事を觀取出來ました事は、盟邦泰國の爲めにも心中祝福の念を禁じ得なかつたのであります。

大體到着當日の日程は此の程度と致しまして、夜に入りましたが其の夜の思ひ出話の一つとして、私にとつて一生忘失し難い事があるのであります。それは唯今申しましたドグマン飛行場、これは十年前ダツチメールを利用して此處から緬甸のラングーンへ飛ぶ

べく搭乗の豫約を、再考の後棄權して、他のコースに致しました處、其の飛行



(會の茶おのちた娘の家良)

機は天候の影響によりスタートの際過まつて轉覆炎上、全部が惨死した事實

でありまして、私は此の事實を陸路南下二日の後ビナンのホテルで新聞記事で讀まされたのであります。皮肉と申しませうか其の因縁を持つ飛行場へ、今日は空路より無事に着陸、遙かに當時を回想し、時の犠牲者の靈に暫くの黙禱を捧げた事どもを語らひ、夜更けるに及び明日への、否今後の使命に向つての心構へに移つたのであります。當時臺北の氣温八〇度前後、此のホテルの部屋の寒暖計は就寝時何んと九十六度を示して居つたのであります。

### 南方共榮圏との提携協力

明くれば三月十四日、當時の泰國は官民上下を通じて戦勝祝賀歡喜の堪と化し、(但し支那華僑は例外にあり、彼等の市街に一本の國旗をも認め得なかつたのであります)従つて官公署要人悉く夫等

の行事に忙殺され、或は休日等となり、約一週間は其の方面への用務を果し得ず、其の後漸く出先日本外務省當局の指導と尊旋に依つて、漸時泰國側關係各方面への訪問を開始し、或は地方へ視察等を行ひ、概ね用務を果して滞在四十三日、去る四月二十四日等しく空路歸途に就き、翌二十五日歸任致した次第であります。

茲に私は然らば私共が今回泰國に参りましたる使命は何であるかを申上げ度いと思ひます。元より私は醫學徒であり熱帯醫學研究所長の職を汚して居る者ですから、當然其の職域よりの御奉公で御座います。即ち眞の熱帯地域泰國に於ける衛生事情の如きに至りましては、其の特異性を充分に知る上には、何としても其の現地域に於て、現地の資料に就て出来得るならば其の國の學者と協力して、當方の學者も親し

く其の調査研究を行ふ事が絶対に必要とする所でありまして、此れは彼我共同の利益であります。殊に今や南方共榮圏の中核として、將又、指導者として自ら任ずる日本に執りましては、今日より直ちに泰國は元より佛印を初め其の他の南方植民諸地方と提携協力、以つて相互間の安寧と福祉とに貢獻すべきであります。

### 維新建國を 目指して

元來泰(Thailand)國なる名稱は、シヤム人、ラオス人、シャン人等の總稱(高貴な人)の意を有する語に因んだもので、従つて名稱二十數種民族を包含する中でも、所謂泰人と言ふのが本國民族を構成する基本體形を有するものであります。而して此等の泰人がその昔盛なりし時代の泰國を想起し、泰國

維新建國を目指して東亞新秩序圏内に立ち上つたのが現在の姿だと考へられるのであります。

果して現政府統治下に於ける新生活運動とも見るべき現象が、政治、經濟、文化、軍事等の上にも躍如たるものあるやに見受けられるのであります。例へば羅馬字が街頭からもプラットホームからも抹殺され、華僑からも従前の如き公然三民主義學校教育の機關は完全に奪はれ、且つその新なる入國並に居住の地域に關しても相當程度の制限を加へられる等、随分思ひ切つた處置が採られて居ります。又一方自國民に對しても國民教育の振興と普及とを圖り、衣服或は婦人に對しては特に男子の夫れを思はせる如き頭髮、將又彼の特有なるパメン姿の如きを舊慣陋習として此れが禁止と改善に努め、更にその産業經濟の部門に互つても、他力依

存を排し専ら自力更生に具現化、邁進、着々その歩を進められつゝある事が明瞭であります。尙軍事に關しましては私共の窺知する範圍ではありませんが、滞在期間中屢々第一線よりの凱旋兵の行進行列に遭遇致しましたが、十年前の素足の近衛兵の練兵を見た此の目には今日が全く想像出来なかつたのであります。

然し何と申しまして、幾百年の間に互つて此の泰民族を中心として、印度或は甸緬を加へて戰禍殆ど絶え間なく、殊に近世紀に入つては英佛兩國より前後八回に互つて領土の分割を餘儀なくせられ、その國土は半減して現在約六十萬平方料、而も國土必ずしも天惠豊とは申し難く、米、ゴム、チーク材その他若干の礦産資源をその雄と致しまするも、その氣候風土の關係も加はりますして、俄かに人的資源の大活動

の開始を期待し得ざる限り、更に又人口は僅かに千數百萬、此等の各自が現世界情勢を覺り、舉つて勤勞報國思想に對する文化的水準を昂むる事の容易ならざるを思ふ時、遺憾ながら盟邦泰國の前途にも幾多の難關ありと率直に申さねばならぬと存じます。

### 泰國は何處に往く

最後に結語と致しまして、然らば今後の泰國は何處に往くかに就て所感を述ぶる事に致します。周知の如く泰國は小乘佛敎國であり、國民皆兵にあらずして國民皆僧と言ふ様な因習に永い間浸つて來た國であります。此の宗教の影響にも因るものでありませうが、泰國人は物慾に恬淡で人に對する疑ひとか謀略とかを弄する様な天性が薄い様であります。一口に申しますならば、例へ心の奥底には正義に強い負

けじ魂が潜んで居るにしても、一應正直で人柄が良いと言ふ國に感ぜられなければならないのであります。

何れに致しましても今回の事變によつて、白色人の捕虜をも加へて數百名を盤谷の公園の一劃に列國環視の中に平然と曝し者にして憚らずに居る今日の泰國人の心境は、最早目醒めたのであります。それ丈けに今後の泰國には、眞に泰國の心の友となり其の兄として或は親ともなりてあらゆる力を惜まない、詐りなき味方を必要とするの一層切なるものがあるのではないであ

りませうか。先般御渡臺になられたワンワイ殿下の内地での度々のステートメント、又總務長官々邸でのお話を伺ひましたも、私共、否日本國民に對しての唯單なる一片の外交辭令とのみは拜承出来ないのであります。



# アメリカ 米極東政策の據點 フィリピン 比律賓の民情と風俗

臺灣拓殖南洋第二課長 金子 豊 治



フィリピン人の人

比律賓は吾が臺灣とは、文字通り、一帯帯水で、鬱鬱鼻の南、約二百海里、呼ばば正に應へんとする所にあります。

## 人種

比律賓人は、馬來系の褐色人種ですが、南方支那人の血も、相當混じて居り、又日本人にも、似通つた點が多いのであります。特に私のやうに色が黒く且餘り背の高くない者は、往々にして、比律賓人と間違へられるのであ

ります。

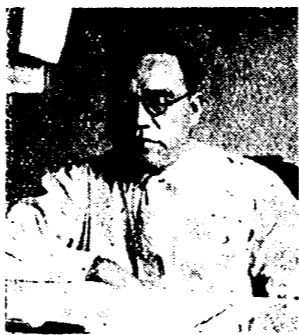
普通に比律賓人、即ち、フィリピン人と呼ばれる國民はおぼむね「キリスト」教信者であつて、大體文明人と云ふことが出来まして、所謂「南洋の土民」の類ではありません。反て中には、仲々颯爽たるものがあります。彼等は曰く成程比律賓人は人種的に見て東洋のものではあるが、文化的に見れば西洋のものであると、想ふに西班牙の領有下三百數十年、アメリカの統治下四十餘年の間に於て、比律賓人の人情、風俗、思想、動作、其他衣食住など、あらゆる方面に於て、相當西洋化したことは、争はれない事實であります。

一部知識階級の比律賓人が、身は東洋にあり乍ら、東洋人、亞細亞人などと呼ばれることを、潔しとしない所以も、亦此處にあるのであります。

## 宗教

「キリスト」教比律賓人は、全人口一千六百萬の約八分の七、即ち一千四百萬餘でありまして、内カトリック教徒約九百萬、比律賓獨立教會信徒約二百萬の外、アメリカ占領以來布教された新教の信徒約二十萬などがあります。

「キリスト」教比律賓人の中にも、色々異なつた種類の人があります。其の内、比律賓人の中堅となつて居る者は「ルソン」島の中央部に住む約四百萬の「タガログ」人と「バナイ」・「ネグロス」・「セブ」などの島々に居る約五百萬の「ヴィサヤ」人です。其の他刻苦勤勞、良く外國へ出稼ぎをする「イロカノ」人や、尙武の氣性に富み、多く軍人になつてゐる「パンパンガ」人なども有名です。



(著者)

## 言語

「キリスト」教信者でない、即ち非「キリスト」教比律賓人は全人口の約八分の一、即ち約二百萬人でありまして、之には亦數十種の種類があるのですが、此の内最も著名なのは「ミンダナオ」島の西部一帯と「スルー」列島に住

「キリスト」教信者でない、即ち非「キリスト」教比律賓人は全人口の約八分の一、即ち約二百萬人でありまして、之には亦數十種の種類があるのですが、此の内最も著名なのは「ミンダナオ」島の西部一帯と「スルー」列島に住み、回々教を信奉する「モロト」族でありまして、其の数は百萬以上に達し、南部比律賓では、依然として、隠然たる勢力を有つて居るやうです。此の外「ネグリティ」・「イゴロツト」・「チンヂアン」・「バゴボ」・「マノボ」・「ピラニン」等は、幾分、名の知れた種族であります。何

一般比律賓人の用語は、大體馬來語を語源として、雑多な方言に分れて居りますが、概ね之は「タガログ」語と「ヴィサヤ」語との二つに大別することが出来まして、此のどちらかは人なり小なり、一般の比律賓人にも解るやうです。

尤も只今では西語と英語は巧みに會話に取入れられ、特に西語は、議會や裁判所で概ね其の三分の二まで語られて居る有様です。勿論英語も、西語と同しく公用となつて居り、若い者の間とか、商賣上に廣く用ひられて居りますが、一日家庭へ歸つたり、又は西語を語る場合が多いのであ

### 雑 婚

ります。

比律賓群島は元々亞細亞大陸の一部であつたと云はれ、従つて比律賓人は、人種的には、馬來系褐色人と南支那黄色人と混血人であるとも認められるのであります。さなきだに歴史を緋けば、おわかりの通り、近世に於ける支那との交渉は、遠く八百年位前まで遡ることが出来、此の間、支那の商賈人や、移住民が、絶えず出入し、中には比律賓婦人を娶つて、此の地に定住又は永住した者もあつたことは、容易に想像されますし、又四六時中女々として働く支那人は、比律賓婦人に、相當歓迎されたであらうことも想像されます。

續て今から約四百年前、彼の「オリ」色の膚をした黒髪の西班牙人

が、續々渡來して、比律賓婦人と結婚しましたが、間に設けられました子供は、仲々器量もよく能力も優秀だと云ふので、大に歓迎され、従つて混血兒も大々的に増加しました。越えて今から四十二年計り前、北歐(北ヨーロッパ)系統の白哲、金髪のアメリカー人が入り込んで來ましたが、彼等は餘り難婚せず、僅かに現地退職の一部、軍人などが、黒い髪の比律賓娘と結婚した位でありまして、其の影響などは未だ見られないやうです。

序ですが日本人との婚姻数は、之亦多くなく、其の影響も未だ見當つかずと申上げた方がよからうと思ひます。比律賓では、混血兒を、男の方を「ミスター」女の方を「ミスチーサ」と呼びますが、彼等は混血兒たることを、大に得意として居ります。事實、此の混血兒特に支那系や西班牙系の「ミスチ

ーソ」は政界や實業界で仲々羽振がよく、一般の比律賓人をいつも「リード」して居りますし、又「ミスチーサ」は概ね器量もよく、教育もあると云ふので、婦人界や、社交界の花形になる場合が、仲々多いやうであります。

### 生活態様

さて一部の比律賓人は、やゝもすると、自分達は、東洋に於ける唯一の「キリスト」教國民であつて、且生活程度の最も高い民族であるなどと豪語することがあります。成程東洋唯一の「キリスト」教國民たることには、間違ひはないやうです。又政界や實業界などの一部有産階級は歐米風の宏壯優雅な家屋に住み、颯爽たる服装を整へ、高價な自動車を驅り、音楽を賞で、ダンスを踏む等、歐米人と殆ど變らない生活態様を送つて居る爲、彼等から見



マニラ市街

ば、正に東洋第一の高級生活を營んで居るやうな氣がするのかも知れません。然し、一般的に比律賓人の生活状態を吟味した場合は、如何に最良に見ても、東洋最高の生活標準であるとは申上げ兼ねるのであります。

成程「マニラ」あたりの一部海岸地區などは、仲々立派な街區となつて居り、文明人、文化人などの住ひとして、申し分はありませんが、一日都會から郊外に出て、田舎に入つて行きますと、之れは之れは文字通り竹の柱に茅の屋根の家が多く、椽の下では雞が時を作つたり、豚の子がどよめつことをしたりする所も尠くはないやうです。そして此のあたりの住民は、概ね半ズボンにシャツ一枚の輕装、婦人は腰巻に褌袴一枚で、下駄やスリッパを履いた

り、履かないだりです。次に食べ物はと申しますと、大體一日二食で、概ね質素簡單、常によく魚と野菜類を交ぜて煮込み、之に唐辛などの辛いものを、タツプリアしらつて、蒸し御飯と一所に手掴みで喰べます。時には御祝ひなどのある時は、リツチョンと稱する豚の丸焼を作り、大勢寄り集つて喰べま

す。之は比律賓の上等料理でして、油が多いのですが、仲々においしいものです。かういふ風に比律賓の料理には、多分に支那風の調理や嗜好が加味されて居ります。

一寸餘談になりますが、南洋や印度方面では、手掴みで食事を攝る習慣があり、而も此の手掴みたるや、箸とか「フォーク」とかの仲介物の厄介にならず、直接手から口へと云ふので、此の方が遙かにうまく且自然であると、よく自慢されるのであります。

成程、彼等に伍して一所に手掴みをやりますと、仲々おいしいこともあります。

尙衣裳―着物について、特に珍らしく且特色のあるものは、彼の鳳梨―パイナップルの葉の纖維を織つて作り出した薄手の上衣であります。これは男用が「パロンタガログ」と呼ばれ、婦人

用が「バリントワク」と云はれまして、特に婦人の方は、肩のところを幾分ふくらみを持たせ、之に點々と色取りの刺繍などを置いて、海に優美典雅のものです。尤も一度雨などに濡れますと、忽ちグタク／＼になつてしまひますので、田舎の町などで、お茶の會とか宴会等で生憎雨でも降りますと、出席者は殆ど無くなります。吾々日本人でも、かういふ上衣をつけて、社交の集りに参加したり、又は比律賓人を訪問したりなどしますと、大變に喜ばれることがあります。

### 歐米化

端的に申せば、比律賓人は、元來おめかしが甚だ上手の方で、身形などを、仲々氣にする國民であります。日曜や祭日には、工場や農園で働く労働者は勿論、家庭の下男下女に至る

まで、相當立派におめかしをし、男は、赤いネクタイを掛けたり、ゴテ／＼コスメチツクをつけたり、又女はデカ／＼と口紅を塗つたり、眞紅にマニキュアをやつたりなどして、物賣店や活動寫眞館の前に集つたり、又は町中をそぞろ歩きしたりします。之は永年彼等の習慣のやうです。又一寸氣の利いた連中は、ギターを弾いたり、音楽を歌つたり、ダンスをやります。かういふ趣味と申しますか、嗜好と申しますか、之はいつの間にか、歐米人、特に西班牙人の風習を取入れて、自分達のものにしてしまつたに相違ないのであります、まあ結構な習慣だと思はれます。

然し乍ら、これとは全く反對に、やゝもすると比律賓人は然諾を重んぜず、時に眞赤な唾を吐いて、平然たる者もあります。又たわいもないことで

勞働争議を起し、世間を騒がすことがあり、特に外國系の企業家や資本家は、豪い迷惑を蒙ることがあるやうです。又此細のことから拳闘の果し合ひなどをやります。これは陽氣の故もありませんが、拳闘などを習つた爲でもありません。かういふ點は歐米人の悪い所をそのまま見習つた様でありまして、特に若い者にとつては残念だと思はれます。

尙一般比律賓人の氣持、氣品、動作、所作などは、どうかと申せば、概して西洋風が主であつて、東洋風は従であるやうです。即ち物の考へ方、物の言ひ振又は起居動作などは、多分に西班牙風やアメリカ風でありまして、特に近年軍事教育の普及に連れまして、若い者の間にはアメリカ風の言ひ方や所作が盛にしみ込んで行くやうで

す。

### アメリカの遺業

御承知の通り、比律賓は、來る昭和二十一年七月四日を以て、アメリカの主權から離れて、完全に獨立する事にきまつて居ります。尤も二三年來、獨立再検討とかの議論が唱へられ出しま

したので、果して豫定通り獨立するかどうかは分りませんが、何れにしてもアメリカは比律賓に道路と教育と民主主義と云ふ三つの偉大且貴重な、御土産を遺したと云はれて居るのであります。成程、自動車道路は津々浦々まで全國に開通して、約二萬二千軒に達し、内「アスファルト」道路は五、六千

軒に上つて居るやうです。

又教育もよく普及し、學校は邊邑にも設けられ、目下の就學生徒及學生數は合計二百萬を超えて居るやうです。僅々四十二年間のアメリカ統治の下で、道路と云ひ教育と云ひ、斯くも急激に發達しましたことは、慥にアメリカの偉大且貴重な遺業——御土産であると云ふことが、比律賓を旅行したときに、つく／＼感ぜられるのであります。



子椰の邊海

で、アメリカ人が之を誇るのも無理からぬことと思はれます。但し彼等が謂ふ所の「デモクラシー」民主主義の置き土産と云ふ點に付きましては、見方に依り又見る人に依り異なるものがあるのであります。かゝるイデオロギーの置き土産は、果して比律賓人に貢獻する所があつたかどうかと、之を甚だ疑つて居る比律賓人も尠くないやうであります。

### むすび

比律賓人は、布哇やアメリカ本土にも多数出稼ぎに行つて居り、特にアメリカ本土には十萬人近くも在留し、内六・七萬人は太平洋沿岸の都市や農園で働いて居ります。そして甚だ面白いことには、是等労働者の多数は、アメリカ大陸の當初、そこに居る日本人のリカ上陸の當初、そこに居る日本人の周旋に依つて働き口にあつたといふこととす。

又彼等は、日曜祭日等の休業日には、一様に日本人町へ集まつて来て頭髮を刈つたり、玉を突いたり、飲み食ひをしたりするのでありまして、決して歐米人即ち所謂白人のクオーターには出入せぬこととす。矢張り自然と東洋人たる氣持で日本人町、日本人の所へ接近し、集まつて来るのであります。

も、歐米人や東洋人など合體のお茶の會などになりますと、いつの間にか、歐米人は歐米人でグループを作り、比律賓人や日本人なども、また別に一とかたまりとなつて、世間断をしたり、商賣の断をしたりするのであります。これは何と云つても、不知不識の間に人種的意識が、類似の人種を、双方から引付けるのではないと思はれます。

フィリピンに於ける邦人の移住史は、遠く鎖國以前にさかのぼり、文政年間より一時非常な勢力を加へ、一時は三千人の邦人がバシラグ河畔、今のマラカアン官邸附近に日本町をつくり、一大勢力をなしてゐたことが古い。船物に見えてゐるが、その後漸次減退し、この三千邦人は如何なる運命をたどつたものか、歴史はその消息を傳へてゐない。

てゐるが、道路、建築工事のため、明治三十六年中には一千四百七十名、次の年には一千六百二十六名といふ多数が入國してゐる。その後工事の終ると共に邦人の移住は下火になつたが、一方、マニラ麻栽培のためにミナナガ島にダダアオが邦人の手によつて開成され、これは非常に成果を収め、事始めには一萬四千人に及んだ。

アメリカ人は比律賓人の事を「小さい茶色の兄弟よ」とよく呼ぶことがあり、聊か彼等を見下げた觀があります。が、彼等は現在のところ、別に之を咎め立てて居らぬ様です。

### 邦人發展史

この他マニラを中心とする邦人も、日米關係の悪化してゐる時にもかかはらず、緊要な發展を遂げてゐることは、南進日本のためにもまことにたのしいことである。

私共日本人は比律賓人に「南隣の兄弟よ」と呼びかけ、善隣交友、謂はば隣組の氣持で、仲よく暮して行きたいものであると、希望を附け加へさして戴いてこの文を終ります。

## 臺灣紹介

### 集募賞懸

#### 短篇讀物

臺灣總督府情報部

#### 一、懸賞

情報部に於ては時局下帝國南進の基地を以て任ずる臺灣の事實を廣く内外地の同胞に正しく認識せしむる爲、臺灣の有する自然、人文、産業、衛生其他百般の事情を興味的に敘述した短篇讀物を編く蒐集し、之を或は冊子として刊行し或は資料として中央地方の各雜誌社に提供し、大いに臺灣の宣傳に乗り出さうと考へるに至つた。そこで次の要領に依りこの短篇讀物を廣く懸賞募集する。島内は勿論、島外在住の各職域に於ける文筆愛好の士の奮つて執筆應募あらんことを望む。

#### 二、題材

臺灣の歴史、地理、自然、景観、人文、産業、經濟、交通、衛生、風俗、習慣、名勝、傳説、傳記、物語、美談、紀行、案内

#### 等臺灣に取材せるもの。

例………兒玉將軍と臺灣、南菜園物語、濱田彌兵衛の話、颱風園、北回歸線に立ちて、臺灣民話集、部落の一年、南方拓士の日記、蓬萊米の話、紅茶の話、蓬草と大甲帽、臺灣の果物、水牛、空の旅、マラリア防退、熱帯衛生物語、七夕祭、城隍爺祭、トンボ玉の話、寺廟巡り、阿里山紀行、托鉢僧、マツカイ博士傳、頭目カヤマの生涯、君が代少年、譽の軍夫、志願兵一番乗、榮科現地報告、蕃地紀行………

以上の題材は只思ひ附のまゝ例として示したに過ぎない。斯う云ふ種類のものでは如何なる題材のものであつてもよいのである。各自の持つてゐる最も良き取材を期待する。

#### 三、執筆形式

- 1、文章はなるべく口語體とし、臺灣特有の熟語には振假名及び註釋を附すること
- 2、文中繪畫、寫眞等の挿入は大いに歡迎する
- 3、一篇の長さは四百字詰原稿紙二十枚以内

#### 四、賞金

等級を附せず優秀なるもの三十篇を採る豫定

入選作一篇に付賞金三十圓宛贈呈  
但し優秀なるもの少きときは入選者の數を減することあるべし

#### 五、締切及發表

締切 昭和十六年八月十五日(當日の日附あるものは受付ける)

入選發表 同九月中旬の豫定(當部發行臺灣時報又は部報及新聞紙上に於て發表、入選者には當部よりも通知す)

#### 六、其他須知

- 1、應募宛名「臺灣總督府情報部」とし封筒には「短篇讀物原稿」と朱書すること
- 2、紙土匿名は隨意なるも、別に住所氏名を明にすること
- 3、應募原稿は一切返戻せず
- 4、應募原稿の版權は當部に歸屬す  
入選作以外のものと雖も改作して使用することあるべし

# 蘭印



## 蘭印に於ける邦人活動の近況

三井物産東北支店長

山田 政次

はしがき

蘭領東印度に於ける在留邦人は、一般に七千人と稱せられて居るが、最近蘭印政府の邦人入國制限益々峻烈を加へ居ると、日支事變以來日本への輸入雜穀類の不振、又は土民購買力の減退及華僑の排日に因る邦人小賣商の商賣萎縮等により、内地又は滿支方面に引上げたる者相當數に上り居る爲め、些か減少せるに非るかと思はる。

此等の邦人活動の魁をなすものは、富山の賣藥商にして、日露戦争前後に瓜哇全島に互り山間僻地に到る迄賣藥を賣擴め、到る所で瓜哇人

の信頼を博し邦人の確固たる地盤を築き上げた。

現在邦人の活動は、各方面に互り多岐多様なるが、何れも我國南洋發展の最前戦に立ち、燃ゆるが如き意氣と確固たる自覺を以て、炎熱下に奮闘しつゝあり、今之を各業に分ち略述することとせり。

### (一) 貿易並に島内商業

蘭印の昨年度即ち昭和十五年一月より十二月に到る同國貿易を見るに

總輸入額	四四四、二六一
總輸出額	八七三、四六九
差引輸出超過	四二九、二〇八

(單位千盾 一盾二四三三錢)

之に對する我國の地位は

日本より輸入 一〇二、八五五  
 日本へ輸出 四七、九六七  
 日本より輸入超過 五四、八八八

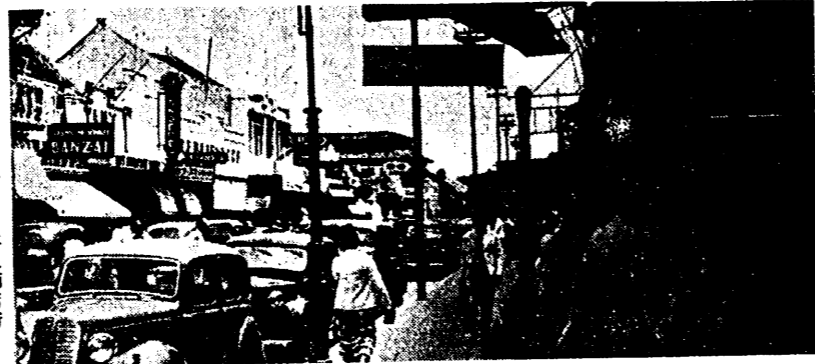
進行中なるを想倒する時、甚だ奇怪なる處置と云はざる可からず。

此幾多の制限の下に、蘭印に於ける經濟戰士として第一戦に奮闘せらるゝ邦人諸氏には、滿腔の敬意を拂はざるを得ず。

然るに従來蘭印に於ては、輸入日本品の約七割は各商社の過去の實績により、嚴重なる輸入割當制を採用し、而も此制限品全體に對し七割五分は所謂五大商社の占有する所にし、残り僅かに二割五分が邦人に割當てらるゝ現状なり。此上に昨年五月獨逸の和蘭本國侵人以後爲替管理法を施行し、輸出入爲替を統制し、更に本年五月に入り相當品目に互り輸入禁止を發令する等、日蘭貿易上の障害は益々過重せらるゝ觀あり、而も現にバタビヤに於て日蘭會商の

然しながら更に冷靜に日蘭間の經濟關係を検討すれば、蘭印は本國並に歐洲より物資の供給を遮断せられたる今日、綿絲布其他土民必要物資は日本及米國より仰ぐより外途なく、而も蘭印土民の生活安定は、日本商品により初めて達成せらるゝを思へば、蘭印當局は日本の提唱する東亞共榮圏の眞意を克く體得し、兩國間有無相通する經濟體勢を採り、今日の難局に善處す可きと思ふ。日蘭會商に於る日本側當局の意圖も、茲に在りと確信する次第なり。

蘭印に於て貿易方面に活躍する邦



バタビヤ市の日本人商店街



に好適なる針葉樹は、二十年にして生長すると云はるゝが、將來邦人が此方面に發展せられん事を切望して已まず。

尙蘭印に於ける臺灣籍民も、相當數に上るも、不幸にして筆者其概數すらも知らず、商工業或は醫者等に成功を収めつゝある人々を知れり。今後風土氣候の類似せる蘭印に、本島人の多數が、渡航南進基地としての臺灣と蘭印との楔とならん事を望む。

最後に邦人子弟の教育に就き一言

### 情報部編 家庭防空群

四六判・定價送共十錢  
臺灣時報發行所  
臺灣總督府管内  
振替二〇七〇番

せるに、現在瓜哇各地日本人會は、バタビヤ、バンドン、スマラン、スラバヤ等に日本人小學校を經營せるも、邦人二世の數漸増の勢にて、既に校舍狹隘教員の不足を告げつゝあり。然るに在留邦人の財力にも限度あり。學校の擴張完備等に絶大の苦心を嘗めつゝある状態なる故、此際地域の最も近き臺灣が、出來得れば財的援助を與へ、又教員の交流、或は上級學校への入學特典等の便宜を供與し、邦人子弟教育の向上に協力せられん事を切に希望する次第なり。

### 附記

昨年九月以來、バタヴィアに於て開催せられてゐた日蘭經濟交渉は、蘭印側の不誠意により、六月六日遂に不調に終つたが、本稿は、交渉不調前の執筆にかかはるものである。

### 部報掲載資料募集

寫 眞 時局關係又は地方特色あるもの(大きさは成るべくキヤビネ判とす)

感 話 各地に於ける感激實話又はニュース(一篇の長さは四百字詰原稿紙二枚以内とす)

漫 畫 時事又は生活を取り入れたる興味的の漫畫(郵便はがき又は美濃半切大の畫用紙を用ふる事)

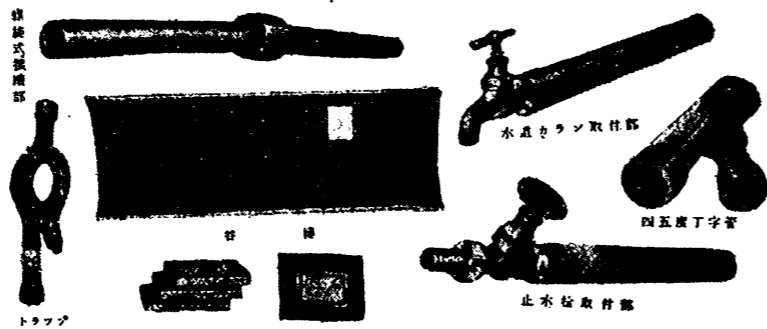
昭和十六年八月十五日印刷發行  
編輯者 臺灣總督府情報部  
發行所 臺北中街二丁目十五番地  
印刷所 加藤 登 吉  
臺灣總督府管内  
小塚本店印刷工場  
臺灣時報發行所  
振替二〇七〇番

### 材木土築建

### 應順ニ策國

### 品用代ルセ

ル優ニ管鉛・管鐵・竹ノ用湯給泉温・水給・水排・戸井掘◎  
(ニ酸耐・害無生衛・ズビ錆・ズラ腐ヲ管ドツレソ)  
ニ用代ノ板キリゾ板浪製綿石・板鉛亞ノ用リ張根屋小ヤ庇◎  
(イ強ノ力久耐テク輕・ズラ腐・ズビ錆ヲムユリレソ)  
ル優ニムーリノリナ價高用下廊・段階・院病・室務事・床板・リクンコ◎  
(單簡ハ除掃テニキ拭水ク強力久耐ク良ニ生衛ヲムユリレソ)  
(ナ濟經モ最便簡繕修)



### 品製ドツレソ式ホクタ

耐・水防對絶リナニ導指ノ所究研業工ハ品本  
水テシニ便簡合接・害無生衛・鐵絕氣電・酸  
事工氣電・用水排・用水給ニ管ドツレソ(一)  
用戸井拔掘・用斯瓦・用  
廊・段階・接廊・所務事ニムユリレソ(一)  
ノ張板・トーリクンコ等場工・堂食・下  
品適最テシト用敷上  
・無絶氣息・比無牢堅・廉低格價ニ長特(一)  
便簡工加モノ等器什・具家・無絶體腐

### 新案特許

ソレド排水管ソレド給水管  
一合ハ長サ十二尺  
二合ハ長サ六尺  
三合ハ長サ六尺  
四合ハ長サ六尺  
五合ハ長サ六尺  
六合ハ長サ六尺  
七合ハ長サ六尺  
八合ハ長サ六尺  
九合ハ長サ六尺  
十合ハ長サ六尺  
但シ施工費ハ其ノ都度御積リ致  
御一報次第直テニ見本品  
又ハカタクログ進呈シマス

部賣版品製社合式株業工トスベスア本日  
社 會 式 株 事 商 矢 古

番五-五二話電 三ノ一町門西市北臺

營業要目

- 一、日本銀行引受國債賣捌取扱
- 二、公社債の引受募集並ニ賣買
- 三、株式の引受募集並ニ賣買
- 四、公社債元利金支拂株式配當金取扱代理事務
- 五、融業務

本店 大阪市東區安土町二丁目

# 野村證券株式會社

臺北支店 臺北市表町二丁目

電話四〇一四一五九、四五三〇、七二五七

支店 東京・名古屋・京都・神戸・岡山・廣島・高松・門司・福岡・金澤

滿州野村證券株式會社

本店 奉天・支店 新京・大連

昭和十二年九月二十日第三號經理認可  
昭和十二年八月十日發行  
（每月二回一日、十五日發行）





府督總濟台  
輯編部報情

昭和十六年九月二十日第三種郵便認可  
昭和十六年九月一日發行

(每月二回一日)

(第一二九號)

